



## アルペン 男子回転(SL)


**森井大輝選手が5位入賞！**

日本からは9名の選手が出場し、座位の森井大輝選手が5位に入賞しました。回転を得意とする鈴木猛史選手は1回目4位につけメダルを目指しましたが、ゴール間近の急斜面で転倒し途中棄権となりました。

**【日本選手の成績】**
**▼座位**

- 5位 森井 大輝 (LW11/東京都、トヨタ自動車株式会社) 1分42秒55  
(1st RUN:7位 46秒48/2nd RUN:6位 56秒07)
- DNF 鈴木 猛史(LW12-2/福島県、KYB株式会社)  
(1st RUN:4位 44秒82/2nd RUN:DNF)
- DNF 藤原 哲(LW11/秋田県、株式会社コロンビアスポーツウェアジャパン)  
(1st RUN:22位 55秒62/2nd RUN:DNF)
- DNF 狩野 亮 (LW11/北海道、株式会社マルハン)



[優勝:イエスベル・ペデシェン(ノルウェー) 1分31秒10]

**▼立位**

- 12位 高橋 幸平 (LW9-2/岩手県、日本体育大学) 1分44秒81  
(1st RUN:14位 48秒01/2nd RUN:16位 56秒80)
- 18位 小池 岳太(LW6/8-2/長野県、株式会社JTBコミュニケーションデザイン/日本体育大学大学院) 1分50秒15  
(1st RUN:25位 51秒06/2nd RUN:18位 59秒09)
- 25位 東海 将彦 (LW3/東京都、トレンドマイクロ株式会社) 2分07秒72  
(1st RUN:34位 1分06秒52/2nd RUN:23位 1分01秒20)
- 26位 青木 大和(LW3/東京都、株式会社EXx) 2分14秒79  
(1st RUN:35位 1分13秒18/2nd RUN:24位 1分01秒61)
- DNF 三澤 拓 (LW2/長野県、SMBC日興証券株式会社)

[優勝:アルトゥル・ポシェ(フランス) 1分29秒61]

DNF:途中棄権

**▼石井沙織 ヘッドコーチ**

始めに、世界全体がコロナウイルスの影響を受け、またこの様な世界情勢の中、北京パラリンピックが無事に開催され本日無事閉幕した事に、安心と支えてくださる皆様に感謝を申し上げます。日本選手団パラアルペンでは、見事金メダル3つと銀メダル1つ、銅メダル2つを獲得いたしました。目標であった座位選手の「金メダルを含む複数個のメダル獲得」は達成いたしましたが、立位選手の「メダル獲得」には手が届きませんでした。しかし、今後に繋がる課題も見え既に4年後に向けてシフトしております。選手1人1人全員がベストを尽くし、よく戦い抜いたと評価いたします。この度はたくさんのご支援、ご声援誠に有難うございました。引き続きパラアルペンチームをどうぞ宜しくお願い致します。

**▼山本太 ワックスサービス**

毎日変わる雪質、コンディションに悩まされた難コースでした。この経験をいかし次に繋げて行きたいと思います。選手の皆さん、スタッフの皆様お疲れ様でした。ありがとうございました。

**▼深井瑛子 総務(チーム広報担当)**

長いようで短く、忙しくも大変充実したパラリンピックが閉会いたしました。私達日本チームのスタッフが現場で選手のサポートをするために、現地でも、日本からも、たくさんをサポートを頂きました。本当にありがとうございました。日本チームの今回の成功は、これまで携わってくださった皆様無くしては実現し得ませんでした。今回の学びを次の4年間に活かし、今後更に良いチームにしていきたいです。今後も、我々チームの発展と、パラスポーツのムーブメント普及へお力添えをどうぞよろしくお願いいたします。これからも、日本パラアルペンチームは成長し続けます！